

令和 6 年 5 月 8 日

市内指定就労移行支援事業所 管理者様

川崎市健康福祉局障害保健福祉部障害計画課長

障害福祉課長

特別支援学校等在校生の就労アセスメントの実施について

日頃から、本市の障害者福祉行政に御理解と御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

就労継続支援 B 型については、年齢や体力の面で一般企業に雇用されることが困難となった者など雇用契約に基づく就労が困難である者に対するサービスであることから、特別支援学校等在学者が卒業後すぐに利用する場合には、就労移行支援事業所等によるアセスメントにより、就労面に係る課題等の把握が行われている者が対象とされています。

就労移行支援事業者等によるアセスメントは、平成 27 年度から支給決定を行い障害福祉サービスとして実施することが全国標準とされましたが、本市では特別支援学校卒業予定者について、支給決定を行わずに特別支援学校等の実習の一環として実施してきた経過があります。

しかし、本来は支給決定を行い就労移行支援事業者による障害福祉サービスとして実施する必要があることから、令和 6 年度から全学校・全学年の在校生を対象に支給決定を行い、就労移行支援事業者による障害福祉サービスとして実施することしますので、御理解、御協力をお願いいたします。

1 対象

本市が支給決定を行う特別支援学校高等部在学生のうち、就労アセスメントの実施を希望する者

※他市町村が支給決定を行う方については、当該市町村の扱いによります。

2 その他

- ・支給決定を行う場合は、通常のサービス利用者と同様に、契約や個別支援計画の作成が必要となります。

(特別支援学校等卒業生対策全般について)

障害計画課地域支援担当 後藤・中村

電話 044-200-0871

(支給決定について)

障害福祉課給付担当 大熊・田村

電話 044-200-0873

かわさきしないざいじゅう れいわ ねん がついこう  
川崎市内在住の令和7年3月以降  
そつぎょうよてい せいとさま ほごしゃさま  
卒業予定の生徒様・保護者様

# 卒業後の就労継続支援 B 型事業所の利用について

卒業後すぐに就労継続支援 B 型事業所を利用する場合は、原則として、在学中に就労移行支援事業所等で「就労アセスメント」を受け、就労面での課題の把握を行う必要があります。

## 1. 就労アセスメントとは？

就労移行支援事業所等が、面談や作業観察によるアセスメントを行い、本人の就労面のニーズや課題（作業能力、就労意欲、集中力等）を整理します。

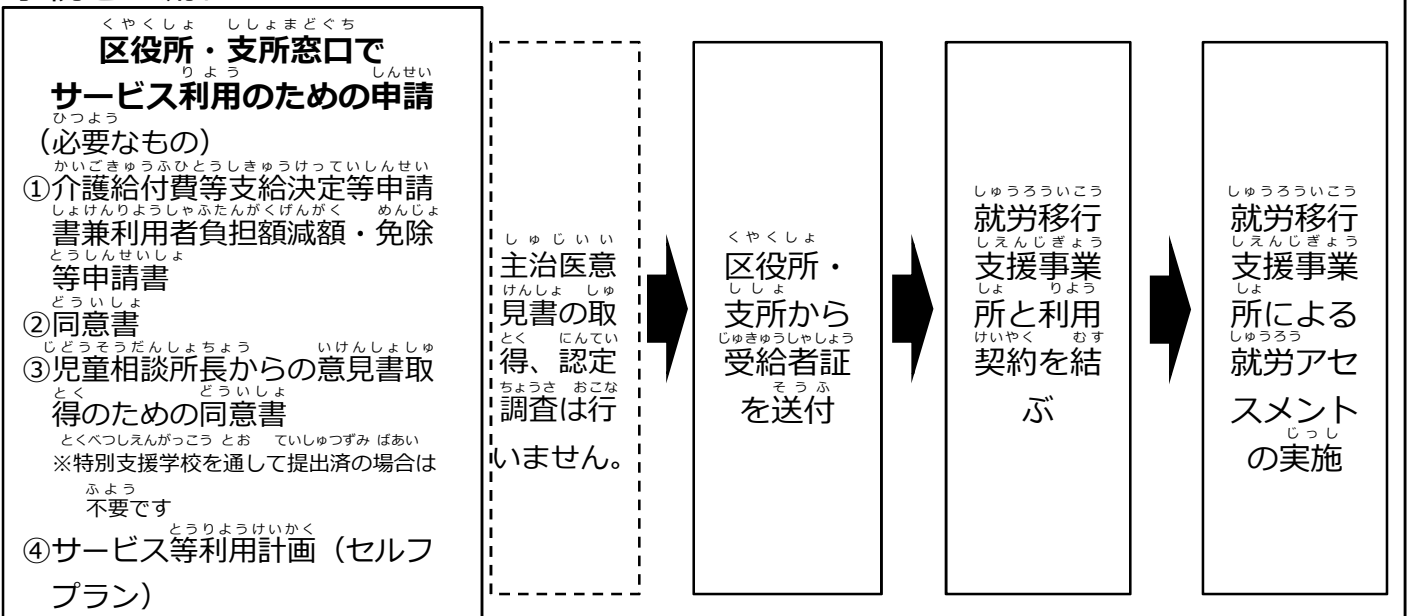
## 2. 就労アセスメントをうけるためには？

お住まいの区役所地域みまもり支援センター高齢・障害課、地区健康福祉ステーションでサービス利用のための手続きを行う必要があります。

以下の流れで手続きを行い、受給者証を取得してから就労アセスメントを実施する就労移行支援事業所へ通います。

※既に障害児通所（放課後等デイサービスなど）や障害福祉サービスを利用している場合でも、改めて就労アセスメント単独の手続きが必要です。

### 手続きの流れ



# 就労アセスメントに関する質問

就労アセスメント結果の有効期限はありますか？

有効期限はありませんので、2年時に実施した就労アセスメント結果についても可とされます。

普段、放課後等デイサービスを利用していますが、就労移行支援事業所の利用にあたって注意することはありますか？

就労移行支援事業所を利用する日と同じ日に放課後等デイサービス・日中一時支援等を利用することはできませんので御注意ください。

就労移行支援事業所を利用するために本人・保護者が行うことはありますか？

お住いの区役所・支所窓口でサービス利用のための申請を行い受給者証の交付を受けること、就労移行支援事業所と利用契約を結ぶことが必要です。

区役所窓口の相談からどのくらいの時間で就労移行支援事業所へ通って就労アセスメントの実施ができますか？

区役所窓口に多数の申請がお寄せいただいている場合は、お待たせすることがあります。また、就労移行支援事業所も他の方の利用状況によって受入できるスケジュールにも影響がありますので、お早めに手続きください。

## 地域みまもり支援センター（高齢・障害課）・健康福祉ステーション

名称	郵便番号	住所	TEL	最寄りの駅・バス停
川崎区役所地域みまもり支援センター	210-8570	川崎区東田町8	201-3215	J R線・京急線川崎駅
大師地区 健康福祉ステーション	210-0812	川崎区東門前2-1-1	271-0162	京急線東門前駅
田島地区 健康福祉ステーション	210-0852	川崎区鋼管通2-3-7	322-1984	臨港バス鋼管通2丁目
幸区役所地域みまもり支援センター	212-8570	幸区戸手本町1-11-1	556-6654	市バス幸区役所入口
中原区役所地域みまもり支援センター	211-8570	中原区小杉町3-245	744-3296	J R線・東急線武蔵小杉駅
高津区役所地域みまもり支援センター	213-8570	高津区下作延2-8-1	861-3252	J R線武蔵溝ノ口駅／東急線溝ノ口駅
宮前区役所地域みまもり支援センター	216-8570	宮前区宮前平2-20-5	856-3304	東急線宮前平駅
多摩区役所地域みまもり支援センター	214-8570	多摩区登戸1775-1	935-3302	J R線登戸駅／小田急線向ヶ丘遊園駅
麻生区役所地域みまもり支援センター	215-8570	麻生区万福寺1-5-1	965-5159	小田急線新百合ヶ丘駅

川崎区については、お住いの区域により担当が変わります。詳しくは、川崎市ウェブサイトをご覧ください。  
<https://www.city.kawasaki.jp/kawasaki/category/120-1-4-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

＜発行＞

川崎市健康福祉局障害保健福祉部障害計画課・障害福祉課

電話：044-200-0871・0873

FAX：044-200-3932

平成 年 月 日

## アセスメント実施依頼票

(特別支援学校等→就労移行支援事業所)

〇〇〇就労移行支援事業所 様

〇〇〇〇〇学校

卒業後の進路先を検討するため、就労面のアセスメントの実施を依頼します。

### 対象者

ふりがな		生年月日	年 月 日 ( 歳)
氏 名			
住 所			
障害名			

### 記入者

学校名		氏 名	
-----	--	-----	--

対象者への説明（記入者が回答してください）

<b>就労系障害福祉サービスの利用説明</b> 就労移行支援事業所・就労継続支援 A 型・B 型のそれぞれの事業目的や意義等を対象者に伝えることについて	1、説明機会をもうけた。 2、説明機械をもうけていない。
<b>企業就労についての説明</b> 一般就労への理解を促進させるための時間を、本人や保護者に設定することについて	1、時間を設定した。 2、時間を設定していない。
<b>相談機関についての説明</b> 一般就労した際に困難に直面した時の相談機関（障害者相談支援センター等）を説明したことについて	1、説明した。 2、説明していない。

平成 年 月 日

## アセスメント実施結果報告書

〇 〇 〇 様

以下の支援対象者について、アセスメントを実施いたしましたので、別紙のとおり、アセスメント結果を報告します。

### 支援対象者

ふりがな 氏 名		生年月日	年 月 日 ( 歳)
住 所			
利用期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 ( 日間)		

### アセスメント実施事業所

事業所名		記入日	
		記入者	

**1、多様な側面の観察（回答欄のいずれか一つに○、項目「体力」のみ数字を記入）**

項目	内容	回答	備考
体力	一日何時間程度の作業を行えるか	一日（        ）時間程度	
作業中の持続力	一定のペースで作業を行えるか。	1、     行える        2、行えない	
作業時間と休憩時間の 区別	作業時間と休憩時間の区別を理解でいているか。	1、     理解できている 2、     理解できていない	
作業の集中力の維持	よそ見をしないか、周囲の様子に気を取られないか。	1、     集中力を維持できる 2、     集中力を維持できない	
作業の正確性	ミスをしなにか	1、     ほぼミスしない 2、     まれにミスをする 3、     頻繁にミスをする	
	ミスを注意したら修正できるか	1、     修正できる        2、修正できない	
作業の自己統制力	パニック等により作業が継続しないことがあるか	1、     継続できないことはほぼない 2、     まれに継続できない 3、     頻繁に継続できない	
作業や日常生活の安定 性	安定した情緒で毎日作業に取り組めるか	1、     情緒は安定している 2、     まれに情緒が安定していない 3、     常に情緒が安定していない	
遅刻・欠勤・無断欠勤 等の有無	欠席・遅刻なく出勤できるか	1、     ほぼ、欠席・遅刻はない 2、     欠席・遅刻が多い	
欠席・遅刻時の連絡体 制の確立	欠席・遅刻を連絡できるか。できない場合は代わりに連絡できる家庭の体制が整っているか。	1、     自分でできる 2、     自分で連絡できないが代わりに連絡できる 3、     自分も家族等も連絡できない	

2、就労支援の豊富な支援者との相談実施（回答欄のいずれか一つに○、方法には利用者への相談検討の具体的方法を記入）

確認項目	回答	方法
利用者の希望、保護者や支援者（特別支援学校担当等）の方針や計画も踏まえながら、同じ事業所内にいる就労支援の経験が豊富な支援者とも相談して検討したあと取りまとめたか。	1、 相談検討し取りまとめた 2、 相談検討はしていない	

3、総合的な所見

※障害福祉サービスの利用計画を立案する際の参考となる所見を記載してください

※観察必須項目が良好な結果になっているにも関わらず、一般就労の可能性や一般就労に向けた支援を受ける必要がないと対象者が考えている場合、以下３点に御留意ください。

- ① 対象者が一般就労を希望していない理由を確認する。
- ② 対象者が持っている良好な力や将来的な一般就労の可能性を伝え、希望に変更がないかを確認する。
- ③ ３年後の支給決定更新時において再アセスメントを行うことが可能であり、その頃に職業的な力が向上している可能性がある旨の情報提供を行い、利用者再アセスメントを受ける希望の有無について、対象者の意思を確認する。

4、対象者・家族・支援者への説明

アセスメント結果の説明年月日	平成      年      月      日	説明を受けた人	対象者    ・    保護者    ・    支援者
----------------	-------------------------	---------	-----------------------------